

第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 令和元年11月24日（日） 14時～16時
- 開催場所 湖北台近隣センター
- 参加者 28名
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、渡辺企画財政部長、柏木市民生活部長
増田環境経済部長、古谷建設部長、伊藤都市部長、他管理職17名

■懇談要旨

市民：人口減少により、事業仕分けで給食について親子方式にすることにより、調理師や器具が余分になるという考えで、合理化を子どもの教育に向けることは、どうかと思います。

市長：小学校と中学校が近くにあるところは、親子方式が良いと思っております。私が子供のころの当時、湖北小学校と湖北中学校は細い道を挟んで建っておりました。私は、湖北中学校で給食を食べておりましたが、それは我孫子市で中学校が給食を始める前の事でした。これがいわゆる親子方式です。遠くに運ぶものがセンター方式です。本当に近い場所であるからこそ親子方式がよかったと思います。ただ現在、我孫子市内19校で親子方式を行う事は困難です。例えば、布佐小学校と布佐中学校は隣接しておりますので、親子方式は良いのではないかと考えております。布佐小学校と布佐南小学校は全学年1クラスという状況の中でいえば、老朽化により給食室を作り変える場合、衛生面も含めて親子方式も良いと考えます。19校全てをという事になればセンター方式になると思いますが、親子方式も自校方式も、それほど大きな違いがあるとは思っておりません。今後もそういった考えのもとで、教育委員会と協議を行ってまいります。

なお、学校給食と教育を同じに考えているというような表現をされておりましたが、まったく別物であり、子どもの教育と一緒に考える事は、いかがかと思えます。我孫子市は、今、小中一貫方式を取り入れ、中一ギャップの解消の効果が出てきております。また、こういった中でICT教育を進めており、こういった事が教育でありますので、子ども達が、自分の夢や希望をもって、それに向かって頑張ることの大切さを知ってもらえるような教育を進めていきたいと考えております。

市民：今回の19号に対する遊水池について質問いたします。今回、北新田で水害の被害にあった場所の農家の方には共済組合に入っていない方が多くおります。市の方で調査をして経営が成り立たないということであれば、何かしら手立てを考えた方が良いと思います。あと、共済は掛け金が高いので、そのようなリスクが多い所の方の掛け金は、安価にしてあげた方が良いと思います。

環境経済部長：水害があった場合の際の補償として共済に加入はしていただいております。当時は、全員が加入しなければならなかったのですが、現在は、任意加入に変わっております。また、掛け金は全国で統一されておりますので、加入するにあたりましては、所有する土地が1万1千㎡で5,000円から6,000円ぐらいです。また、ハウスが倒壊した場合の補償費をもらう際にも、共済に加入することが条件になりつつあります。よって、掛け金の金額が高いか安いのかも含めて、個人で判断していただくこととなります。ただ、市としては、今後も加入の推進は行っていきます。

市長：今回の田中の遊水池がいっぱいになったのは、20数年ぶりです。越水は、私が市長になってから何度かありましたが、青山の水路で止まっておりました。今回の水位は過去最高となっております。なお、今年の7月に国道6号線の裏側の後田樋管の改修が終わり、60cmの管を3mから3.5mのボックスカルバートにしまして、堤防の高さを約3m上げました。利根川の氾濫を止めるには、このような遊水池が必要です。なお、今回の被害ででたゴミなどの処理に3億5千万円ぐらいかかるだろうというところでは、事業主体が千葉県なのか、柏市なのか、我孫子市なのか、改良区なのか今後協議して、来年の田植えに間に合うようにしていく事が、我々の仕事だと思っておりますので、こちらからもしっかり対応していきたいと考えております。

市民：布佐地区の者ですが、今回の水害に対する報告と質問をいたします。布佐地区でアンケートを行った結果、防災無線の内容が全ての住人に分かるようにしてほしいことから、防災ラジオの配布をお願いしたい。また、ある避難所では受け入れを断られたところもあったので、受け入れ体制を近隣センター以外にも避難所の受け入れとして、強化して欲しい。それに伴い地元の消防団や学校、自治会などが情報を知らなかったようでしたので、横の連絡が密になるような体制づくりをお願いしたい。最後に、各地域によって地域性がそれぞれ違うので、地区毎の防災センター

設置に向けて、今後協議をして欲しいと思います。

市民生活部長：避難所で受け入れを拒否したという話は聞いておりません。断られた方に確認して下さい。例えば、湖北台の近隣センターでの受け入れは41人でしたが、まだまだ受け入れるキャパシティーはありました。いっぱいだからとお断りすることは考えられません。また、学校長が知らなかったという件では、今回の台風等では災害対策会議を3回行っておりますが、その中に教育総務部長、教育長も入っています。その前にも警戒本部会議を開いておりますので、学校側には情報がいつているはずで、校長が知らなかったということは考えられませんので、こちらでも確認いたします。また、防災ラジオの件につきましては、国の方ではLアラート（災害共有システム）として、テレビ、ラジオ、ネット、携帯事業者に一斉に情報を流してございまして、テレビなどでも情報は入ってきていると思います。市といたしましてはメール配信、フリーダイヤルによる無料の防災行政無線情報などを出しておりますので、市民の皆様におかれましては、積極的に情報をとりに来てほしいと思います。また、もっと危険な状態になれば、Jアラートもあります。これからも、いろんな手法を活用して、皆様に情報をお伝えさせていただきます。

避難所の体制につきましては、ハザードマップでは小中学校の体育館が避難所になっておりますが、今回は避難人数が少なかったことと、冷たい体育館よりもエアコンのある近隣センターの方が良いだろうということで、決断しました。今回は、このような対応を急遽しましたが、今後、ハザードマップ改訂の場合には近隣センター部分も掲載していきます。地区ごとに防災センターの設置につきましては、現実的ではありませんので、避難所整備がそれに代わるものであると捉えていただきたいと思います。

市長：今回、布佐地区では1時間41ミリ程度の降雨でしたが、長時間降ったことで、半日足らずで、200ミリを超えることになりました。今回、市民の皆様は土砂災害の避難勧告と手賀沼が氾濫する避難勧告と利根川氾濫の避難勧告と全部混ぜこぜに捉えているのが分かりました。市としては、埼玉の栗橋から6時間、野田の芽吹橋から2時間かけて我孫子市に水が来ますので、それを目安にしています。

なお、手賀沼の水位は台風が来る前に、事前に30cm水位を下げて対応しております。今回は、我孫子市からの情報よりも取手市側の情報が多く布佐地区に入ってきて、皆様が不安になったと思います。取手は、利根川よりも氾濫しやすい小貝

川の氾濫を心配していたようで、情報が錯そうしたと思われます。今後は、情報の入れ方を考えなければいけないと反省しました。

市民：最近、ゴミの不法投棄が多くなってきております。クリーンセンターで作成されているクリーンカレンダーを配る際、自治会を通して配布されている中、拒否されるお宅やアパートの方が多く、そういった方々は自治会に入っていない場合が多く感じられます。そういった方には、どう配布すれば良いのでしょうか。次に文化についてですが、我孫子には多くの文化的に優れた方が多くいらっしゃいます。ハンドベルの鈴木さんも、ぜひ、イベントに呼んでいただき、演奏する機会を考えていただきたいと思います。また、手賀沼公園・久寺家線と我孫子バイパス356号の進捗状況について、教えていただきたいと思います。

環境経済部長：不法投棄は、昨年約104件あり、6.2トンになりました。不法投棄は、その投棄者を特定しなければならないので、中身を確認して場合によっては、警察と連携しながら対応しております。

クリーンカレンダーにつきましては、我孫子市に転入届の際にお渡ししておりますし、行政サービスセンターでも配布しております。また、市内の不動産屋にも配布し、アパート等に転居してくる方々に周知していただくよう、お願いしております。因みに、英語版や中国語に加え、ベトナム語版も作成しております。市の方にご連絡くだされば、指導もいきますし、配布のお手伝いもいたします。

建設部長：356バイパスについて、今年度中に暫定2車線で開通する予定でいるとのこと。今後の予定については、県に確認をして、公表できることになれば広報にも掲載をしていきます。

市長：356バイパスにつきましては、地区別にご報告をさせていただいております。

開通後のネックとしては、許可車以外の大型車両が入る場合があります。この点につきましては、警察と協議を行っていきます。手賀沼公園・久寺家線につきましては、土地所有者が残り1件となっております。職員が懸命に用地交渉を行っておりますが、なかなか進みません。交渉が成立しない場合は、違う方法も検討しなければならないと思っております。

また、新しい道路が出来ますと、既存道路をどのようにしていくのか、こういったことは、しっかり協議して、こちらが開通の見通しが出来ましたら、皆様に報告してまいります。魅力発信については、お話があったとおり、我孫子の出身の方や

子ども達は、活躍しております。また、子ども議会で提案のありました手賀沼公園のトイレを誰もが入りやすくなるようにということで、芸大の方が絵を描いて下さいます。このように我孫子市の為にお力を貸してくださっている方もいらっしゃいます。市としても、いろんな方をいろんなイベント等でPRしていく考えであります。来年の夏には、山下 清 展を行う予定でありますので、こういったもの以外でも積極的に市民の皆様を紹介をしていきたいと思っております。

市民：ふれあい道路については信号の設置や横断歩道の線引き等、要望については資料をお渡ししましたので、ご検討ください。あと、自治会への加入についてですが、転居された4世帯中3世帯が加入されないのですが、自治会で加入するよう促したいので、市ではそういった資料とかチラシ等がありますでしょうか。

市民生活部長：ふれあい道路の件につきましては、ほぼ警察の所管となりますので、規制部分につきましては、警察にお伝えいたします。自治会加入の件につきましては、加入されない方の多くは、メリット・デメリットを比較するようですので、難しい問題であります。相談は、市民活動支援課が担当課になりますので、こちらから、ご連絡をいたします。

市民：来年度、市制50周年について、我孫子の歴史をまとめた冊子を作ってほしいと思っております。人物史やこれまでの我孫子の正確な地図を掲載できるとうれしく思います。ぜひ、お願いしたい。2点目は、先週の日曜日の市議会選挙の投票率が42.9%とだんだん投票率が下がってきております。我孫子の将来を考えると何か投票率を上げるか、ぜひ市として方策を検討してほしいと思っております。前日の広報には、何も触れておりませんでした。せめて、一言でも良いので「投票へ行こう」とか、呼びかけぐらいはあっても良かったのではないかと思います。3点目は、湖北台図書館の移転について、お聞きしたいと思います。

総務部長：私は選挙管理事務局長も兼ねておりますので、お答えいたします。投票率が下がっていることは、選挙管理委員会でも危惧しているところです。ただ、東葛管内では、高い投票率を維持しておりますので、これを上昇させる方法がないかということで、我々も考えております。先ほど若年層の件もありましたが、こちらにつきましては、18歳までと年齢が下がった中で、高校に出向きまして模擬投票などを行い、促すような教育を市内全校に行っております。近隣市も行っていただければ、高校生の意識も高まると考えております。今回、小学生の保護者にも投票に

行っていただくということで、小学生ですと20代から30代の保護者となりますので、そういった方々にチラシを配ったものです。関連としては、投票環境がありますので、特に高齢化が進んでいる中では、バリアフリー化や投票所の位置関係を今後は検討してまいります。期日前投票所につきましては、いろいろご希望はいただいておりますので、そういった事も含めて、全体的な中で投票率の向上を考えて参りたいと思います。広報紙についても、わかりづらかったと思いますが、掲載しております。ただ、今は新聞をとっていない方が多くなってきていますので、SNSやインターネットを含めてあらゆる媒体を活用し、広報を行っていきます。また、他市の広報の方法をみても、これまでとは違った内容になってきています。現代にあった内容も検討していきたいと思います。

市長：50周年のご提案ありがとうございます。来年の7月1日が式典でありまして、それに合わせた催し物をどのように展開していこうかと考えております。今、ご提案のあった冊子については、時代をどこまで遡っていくか。また、地図になると昔の地図はアバウトですから、すり合わせも難しくなるのではと思います。

いずれにしても、これまでの積み重ねたものを合わせて、作り上げていきたいと思います。貴重なご意見、ありがとうございます。図書館につきましては、こういった場で議論をさせていただいてきましたが、場所を何処にするか、中々見つけられません。建設にあたり、1期と2期に分けさせていただく話はしたと思います。1期は、若草幼稚園の都合で少し遅れます。そうすると、全体として遅れることとなります。2期というところでは、図書館、市民センターの老朽化がある中で、消防署と保育園は目途がついたのですが、あと行政サービスセンター、図書館を何処にどのように整備するかを始めなければなりません。しかし、クリーンセンター建設が大きな事業になってくるので、第1期の遅れが2期に影響してきます。何卒、よろしく願いいたします。

市民：湖北台住居表示の枝番を行うことになり、大変助かりました。

市長：はい。ぜひ、資料をお持ち帰ってご検討いただき、手続きをしてください。

市民：市職員の給料が約80億円、年間給料の平均が670万円、賞与の平均が160万円ということで、一般の給料よりは高いかと思うのですが、これをどのように削減していくのか、そのような考えがあれば、お聞きしたい。また税収入では、当然、他市からの転入者を多くすることが必要だと思います。平成27年で引っ越し

てくる人が5,000人で、引っ越していく人が6,000人以上ということで、我孫子市をもっとPRしていただきたいと思います。あと、投票率向上の為に、本気で取り組んでいるのかお聞きしたい。昨年も投票所と期日前投票所を増やしてほしいということについては、お答えをいただいております。他市においても期日前投票が増えています。もう一度投票率向上となるように、取り組んでいただきたい。なお、本日の資料の防災無線のメール配信の取り組みは大変素晴らしいと思います。もう一つアピールして欲しいのは、田中遊水池ですが、遊水池であるということを若い世代は知らないようで、利根川が氾濫したとSNS上で騒いでおりましたので、お知らせするよう、よろしく願いいたします。

総務部長：給料については、高いのではないかということですが、他市に比べて我孫子市は、年齢が高いので年収が高くなるという状況です。国との間では、ラスパイレス指数がありますので、数年前までは国を100として110となっておりましたが、今は100.8となっております。この差で努力をしております。まず、人数につきましては、これ以上減らす事もなく、増やすことも考えておりません。給料の総額そのものについても、ほぼ同額でいこうと考えております。さらに現在、我々職員は2%から3.5%カットをしております、東葛管内の他市では行っておりません。これを継続しながら、また他市や国との比較を考えながら誤解が生じないようにしていきたいと思います。給料の額が高いか安いかにについては、市民の皆様はその給料に見合うサービスを提供できているかだと思います。サービスの向上を行いながら、皆様に与える満足感と共に給料の額を考えていかなければと思いますので、決して給料が低いからサービスが低下するという事ではなく、皆様が考えている給料の額と提供できるサービスが一致するような、または上回るようなサービスが出来るよう考えて参ります。

選挙に関しましては、期日前投票所を増やせば投票率に繋がると考えられておりますが、今回、市長選挙から1か所市民プラザを増やして、分析しましたところ、期日前は、最近の傾向のとおり増えましたが、投票日当日に来られている方が、期日前に行かれていますので、期日前と投票日当日に行かれていない方の投票率をどう上げるかだと思います。また、市長や議員がどのように活動されているかというPRを行い、活動が見えるようにしたいと思いますので、選挙管理委員会だけでなく、他課と協力していく考えでおります。

市長：東日本大震災の時に、被災された方からこれ以上職員の給料は下げないでくれと言われました。職員が大変頑張ったからです。私は職員に毎年、あの時のような声があがるように、そして給料に見合った仕事をしなさいと言っております。被災された方からは多くの声をいただきました。これからも職員の給料に見合った仕事をしているかどうかは、市民の皆様判断していただく事だと思っております。優秀な職員を確保するためには、給料を安くしていくのはどうかと思います。優秀な職員が、他市に行ってしまう事も考えられます。

これ以上職員数を減らすと、業務量が増えてしまい職員の負担が増えることから、他市の方を受験してしまうと思われます。

そういったところを見ながら、判断をしていきたいと思っております。当然、職員の給料だけでなく支出項目を精査して、事業を行う為の補助金をみつけるなど財源の確保を目指していきます。